

令和4年度 国際科 学校評価

【自己評価】

① 『成果』		
評価項目	評価基準	評価
1) 誰とでも(友達や外国の人とも)コミュニケーションを図ろうとしている。 →外国語活動	A:肯定的評価が80%以上 B:肯定的評価が70%以上 ○児童アンケート(パスポート内) 「誰とでも(友達や外国の人とも)楽しく、コミュニケーション活動をする事ができた。」A ○授業振り返りシート	A
2) 「外国の人や文化にかかわる活動」により、相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統のよさに気付いたりしている。 →国際理解	A:肯定的評価が80%以上 B:肯定的評価が70%以上 ○児童アンケート(パスポート内) 「活動を通して、外国と日本の違いを感じ、そのよさを感じる事ができた。」A ○授業振り返りシート	A
② 『教育活動』		
評価項目	評価基準	評価
1) インタビュー活動やゲームなど、子どもたちが関わる事ができる活動を組んだか。	A:2回に1回は、実施した。 B:2回に1回の実施ができなかった。A	A
2) 国際的な事項を取り上げ、外国や日本の良さを感じさせる事ができたか。	A:学期ごとに1回以上実施した。 B:学期ごとに1回以上実施できなかった。A	A
③ 『運営活動』		
評価項目	評価基準	評価
○ALT との打ち合わせの時間を確保するために、1日の予定に入れたり、声を掛けたりする。	A:90%以上、ALTと直接打ち合わせすることができた。 B:60%以上 90%未満、ALTと直接打ち合わせすることができた。	B
○授業公開 高学年担当者が授業公開する。(年1回)	A:指導案を配付し、指導の重点を説明し、授業公開した。 B:授業公開をした。	

【学校関係者評価】

○保護者や関係者からは、国際科の取組について、否定的な評価や改善を求める意見はなかった。

○日ごろの授業の様子についても紹介してほしいとの声があった。ホームページや学校だよりの記事に掲載し、一層の広報に努めていく。